

平成12年6月18日

『羽茂方言集』

(羽茂 . 佐渡 . 新潟 . 日本)

関東羽茂会

< 編集にあたって >

この「方言集」は羽茂村史を参考に関東羽茂会の編集委員が遊び心風につくった小冊子です。それは編集の途中段階での出版と云うことです。勝手な評価 (×、 、 ?) もあえて載せていますが気になさらないで下さい、各々の評価があって当然だと思います。今後皆様のご意見を取り入れて現代にあったものにして再発行したいと考えています。

× 削除したかどうか :ファジー (ちょっと理解に苦しむ) ? 全く分からない

NO	評価	方言	内容
1		あおなけ	あおむけ
2		あおろし	青大将
3		あか	幼児
4		あがまんばち	根拠のない大嘘
5		あかるさい	明るい
6		あきやあ	赤い
7		あくたれる	悪い事をする
8		あくち	あくら
9		あくと	かかと
10		あくび	果物のあけび
11		あご	飛び魚
12		あさざり	朝がた
13		あさしらげ	はこべ
14		あしきやあ	知恵がまわる
15		あすぶ	遊ぶ
16		あっかりした	あわやと思うた
17		あづりんばち	あせる
18		あてごう	与える
19		あてづっぽう	当寸法、よいかげん
20		あねやん	若い女
21		あば	中年女性
22		あぼ	小児顎
23	x	あめのかわ	竹の皮(飴を包んだ為)
24		あらかた	大抵
25		あらける	乱暴する
26		あらと	入り口、手前
27	x	あらもと	米調製で大粒の為目を通れない米
28		ありんじょう	蟻
29		あをる	打つ
30		あん	何？
31		あんごう	ポカンとする
32		あんさ	あじさい
33		あんのう	若い男
34		いいい	結い(労力の交換)
35		いお	魚
36		いきやー	沢山
37		いくつちゅあ	行くそうだ
38		いけん	いけない
39		いこせ	よこせ
40		いざくざ	言い争い
41		いさどい	早々と
42		いさばか	軽率にはしゃぐ
43	x	いたおしき	足のない下等のお膳
44		いっこうしゃーこう	らちがあかない、融通がきかない
45		いっさん	一緒
46		いったか	ずっと以前
47		いつだか	いつか
48		いつちょう	1ヶ
49		いっちょうまえ	一人前
50		いってくらあ	行って来ます
51		いってん	同じ
52		いっぴょうし	同時
53	x	いづみ	赤子をいれる籠
54		いび	指
55	x	いびつ	楕円形
56		いまき	女褌(こしまき)

NO	評価	方言	内容
57	×	いみそじる	汁に粉をかけたもの
58		いもじ	物事の和合
59		いやだっちゃ	駄目ですよ
60		いよう	お似合いだ
61		いらん	不用ですよ
62		いらん	不用
63		いん	犬
64		うかつか	軽率
65		うけておく	余分にみとく
66		うこつく	落ち着きがない
67		うたてい	あわれむべき
68		うってつけ	似合い
69		うつわ	うちわ
70		うでる	ゆでる
71	?	うなさる	飽きる???
72		うぶ	素朴な
73		うみやあ	美味しい
74		うむ	化膿する果物が熟す
75		うん	OK(諾意)
76		うんぐりびやー	目高
77		うんこ	大便
78		うんじがんじ	運命
79		うんすけ	十二分に
80		ええあんびやあ	良い按配だ
81		ええようだ	安楽だ
82		えーんだか	良いですか
83		えご	怨言、一種の皮肉
84		えづく	吐き気
85	×	えつこせ	安定した座りかたをせよ
86	×	えふ	価格の下見
87		えめぞ	江溝(ぬかるみ)
88		えれい	えらい
89	×	えんぶり	田の泥を平らにする道具
90		おあぎなしゃあませ	どうぞ食事をして下さい
91		おうさなあ	そうですね
92		おうやりした	安心した
93		おうる	芽がでる
94		おうれい	そうだよ
95		おおいことを	あんなことを
96		おおぎょうに	おおげさに
97		おおざましい	型破りに大きい
98		おおざめる	一種の非難の詞
99	×	おおなけたんぼう	あおむけ
100		おかず	副食物
101		おかた	妻
102		おかんかんばな	たんぼぼの花
103		おきやー	粥
104		おけ	止めなさい
105		おこわ	赤飯
106		おさぎ	兎
107		おぞい	悪い
108		おそぎやー	恐ろしい
109		おそわる	教えてもらう
110		おちあれ	雨や風が急にくる
111		おつかりなしゃませ	お疲れさまでした
112		おつくびやー	お座り

NO	評価	方言	内容
113		おつけ	お汁
114		おっさん	中年の男子
115		おったまげた	大変驚いた
116		おとご	末子
117		おぼえかす	驚かす
118		おぼえた	驚かされた
119		おぼてやあ	重い
120		おまえ	居間
121		おみゃー	あなた
122		おやげにゃー	かわいそう
123		おやさん	家の主人
124		おらしゃんならしゃる	居られますか
125		おらん	おりません
126	x	おりつぼ	便所にふせる肥桶
127		おるかあ	こんにちは
128		おわえる	追う
129		かーるい	かるい
130		かかあ	母
131		かがつぼしい	眩しい
132	x	かきん	便所の尻拭き
133		かくもう	飼う
134		かけもの	掛け軸
135		かさ	小皿
136		かさぶと	かさぶた
137		かしきび	とうもうろこし
138		かじける	凍る
139		かずける	他人がした事をした様に伝う
140		かたがる	傾く
141		かたねき	着物の肩のぬいあげ
142		かたねぼう	担棒
143		かたねる	担う
144		かたびら	布製作業衣
145		かたもっこう	強情
146		かたをこむ	殊更入念に力を入れる
147		かたをもつ	一方に加勢する意
148	x	かつきり	弁当じさんの労働者
149		かつた	借りた
150		かつたで	どうしても
151		かつれる	欠乏する
152		かて	代用品
153		かてあに	仕事分量のわく
154	x	かなぎ山	雑木林
155		かねましい	気兼ねする
156		かねる	恐れ入る
157		かぶしじる	干魚を入れて味をつけた汁
158		かぶりつく	食らいつく
159		かべた	秋田を打つ
160		かべをかる	束数を多く刈る
161		かまどたおし	放蕩者(どうらくもの)
162	x	からすになる	燐が消えて黒くなる
163		からみ	何も背負わず手にもたず
164		がらんど	中が空である
165		かわきり	第1番目
166		がんがんばな	すみれ
167		かんじき	深雪を歩く道具
168	x	がんち	方盲のこと

NO	評価	方言	内容
169		かなぐる	簡略にして置く
170		がんにやいばら	さんきらい
171		かんねん	勘忍
172		かんばん、どーらん	桜の木で作った煙草入れ
173		きうつけえ	注意しろ、気をつける
174		ぎごつ	特に義理固い
175		きさく	気軽
176		きさじ	シラミの卵
177		ぎしゃく	磁石
178		ぎしやばる	威張る
179	x	きじり	台所の一隅薪置場
180		きなくしやあ	織物や紙などの焼ける臭
181		きなんぼう	木の棒
182		きによう	昨日
183		きびさ	気もち
184		きびす	急須
185		きべる	焚く
186		きみょうだ	意外に好結果を得たときに発する言葉
187		きむくぞう	無口な人
188		きめつける	叱りつける、鼻を折る
189		きゃあしま	うらがえし
190		きゃあしよむにやあ	いくしなし
191		きゃあり	蛙
192		きゃある	倒れる
193		きやき	けやき
194		きようさめづら	顔色を失った顔
195		ぎょうさん	多く、沢山
196		きらず	豆腐のかすおからとも云う
197		きらためる	深く調べる、清潔
198		きろつく	きよろきよろする
199		きんま	おこりっぽい性格
200		きんまらほうじよ	藻魚の一種
201		きんりう	斤量
202		くいごしりやあ	炊事
203	x	くぎゃあ	親戚に非ざる会葬者
204		くさをかんに	草を刈りに
205		くじうこねる	無理を云う
206		くじくじしい	くどい
207		くそたれ	臆病者
208		くたばれ	死ね
209		くづくる	小言を云う
210		くらつすける	叩きつける
211		くるむ	つつむ
212		くれい	ぐださい
213		くれる	約束が確実でない様な意
214		くろのう	春農
215		くろぶたに	内々に
216		ぐんだらべい	しまりのない人
217		げす	卑しい人
218		けつ	臀部、尻
219		けつかる	退く
220		げつと	最後、どん尻
221		けつまずく	つまずく
222		けなあーるい	羨ましい
223		けねん	去年
224		げびる	下劣

NO	評価	方言	内容
225		けぶてゃあ	けむたい
226		けらつつき	啄木鳥
227		けん	鶏の肉冠
228		げんがらしい	現にわかる
229		けんじ	炊事
230		けんつく	はなっぱしらが強い
231		けんぴき	肩の凝り
232		けんぴゃあ	響応相手
233		ご	米
234		ごいされませ	人に足をあてた時の謝り言葉
235	x	こいばし	稲扱(簀)
236		こいやれ	来てください(要望する)
237		こう	買う
238		こうか	ねむの木
239		こうがもえる	はらが立つ
240		こうじゃあ	お節介、生意気
241		こうせん	米麦を煎って粉にしたもの
242		こうべ	頭
243		こうろく	手助け
244		こが	桶
245		ごき	飯椀(御器)
246	x	こくしょう汁	かぶらを小さく四角に切って入れた汁
247		ごけえり	継母
248		こじくれる	こじれる
249		ごじゃーましたか	お出でになりましたか
250		ごすい	小知恵をまわす(ずるい)
251		ごすごってやに言われる	やたらに悪くいわれる
252		ごすてんぼう	嘘と云う意味をつよめた表現
253		ごすば	落ち葉
254		ごずぶとん	藁屑を入れた布団
255		ごぜん	お坊さん
256		こそべかっちゃあ	くすぐったい
257		ごたみち	泥道
258		ごってい牛	牡牛
259		こでゃあてい	大よそ
260		こにゃあだ	この間
261		ごねた	死んだ
262		こびしょう	汚い
263		こびつちゃく	小僧(童)を云う罵語
264		こぶり	中間食
265		こぶ	こんぶ
266		こぶら	ふくろはぎ
267		こみゃあ	古米
268		こむしん	残念だ、悔しい
269		こめじゃあ	砕米
270		こりはったや	こり果てた
271		ごろう	唾(アアと驚いて声をだす)
272		ころめく	ころぶ
273		こんきゃあ	この位い
274		こんじゅう	この間
275		こんどめ	後日
276		ごんぼう	牛蒡(ゴボウ)
277		ざ(ぞ)つつぱり	剛情
278		さあぶい	寒い
279		さいなら	さようなら
280		さかしま	逆さま

NO	評価	方言	内容
281		さかす	捌 (さば)く
282		さがねる	探索する
283		さがる	食物などが腐敗すること
284		さきな	先程
285		さけおり	切地を裂いて織ったもの
286		ささ	酒
287		ささらする	中間にいておせっかいする
288		さし	味噌にわく蛆 (ウジ)
289		さずい	梅雨
290		さね (しり)	女の陰部
291		さばける	あっさりとすること
292		さびく	餌で魚を誘う 転じて人の意に密かに触れる
293		さぶしい	淋しい
294		さぶら	通り雨
295		さべつちょ	儀舌
296		さべる	喋る
297		ざまなし	勇気がない
298		さらげる (だす)	のこりなく (全部)
299		さらもん	新しいもの
300		さわす	洗ぬき
301		さんじゃく	三尺桶
302		さんぞう	陰口
303		さんとう (さんだん)	計画
304		さんびゃあし	俵の口に当てるもの
305		し (じ)あー	おかず、副食
306		じかき虫	水すまし
307		しがねる	束ねる
308		しさる	退く
309		しじこ	男根
310	×	したおき飯	大根飯 (長い解説あり)
311		したきじり	居間の片隅小部屋
312		したきつける	雨が横なぐりにふりつける
313	×	しつぶく	そば、もちに具の多い汁をかけたもの
314		しつる	漏れる
315		しと	人
316		しとううつ	湿らす
317		しなく	打つこと
318		しばや	芝居
319		しびてやあ	冷たい
320		じぶんどき	食事の時刻
321		しみる	凍みる
322		しめし	おむつ
323		しめる	閉じる
324		しゃあしゃあ	度々
325		しゃあなし	愚にもつかぬ
326		しゃあむ	左衛門
327		しゃぎつける	殴る
328		じゃごづら	あばた顔
329		しゃちける	騒ぐ
330		しゃりむり	しゃにむに
331		しゃれる	飾る
332		しょうしにゃあ	はずかしい
333		じょうじゅう	絶えず
334		しょうじん油	種油
335		しょうたれ	勇気がない人
336		しょうにしめる	本気になる

NO	評価	方言	内容
337		じょうり	草履
338	×	じよろさん	奥様(上流の妻)
339		しらめ	しらみ
340		しろうま	白い陶器の盃
341		しんぎゃあ	月経
342		じんぎり	つむじ
343		しんぷら	木や竹の梢先
344		すいか	いたどり
345		ずいき	里芋の葉柄
346		すいきょう	好事(者)
347		すいもんもち	雑煮もち
348		ずうすい	雑炊
349		すえつ	月末
350		すかす	間びきもる
351		すたく	なく(黒)詞)
352		すつかんげ	いやらしい
353	×	すつこき	へこ帯
354		すつぱ	健康で並優れの働き者
355		すなぶる	なめる
356		ずやる	おこたる
357		ずんぐり	独楽(こま)
358		ずんぷり	雨や水に全部濡れる(入る)
359		せいでやて	右に同じ
360		せかせる	からかう
361		せく	忙しい(気分)
362		せこ	身の回りの世話
363		せこめる	意地わるくやっつける
364		ぜぜ	魚
365		せせなげ水	下水(どぶ)
366		せたげる	催促する
367		せつにゃあ	悲しい
368		せっぴゃあ	沢山
369	×	せなつこう	藁製で荷を負う時背中に着るもの
370		せびる	要求する
371		せり	貧乏整理
372		せんせい	昔は易者チンガリ語りを云う
373		せんち	大便所
374		そいから	それから
375		そいださきゃあ	それだからこそ
376		そいでええ	それで良い
377		そうだっちゃあ	そうです
378		そうはつかちゃあ	そうですとも
379	×	ぞーぞー	藁麦麵など
380		そっぴゃあなし	何の味もない
381	×	そばどじょう	蕎麦(そば)の太いものを味噌汁で煮たもの
382		そぶそぼくれ	黄昏
383		そよ	水田の中の溝
384	×	そらぐち	土砂堆肥などを背負う道具
385		そらみい	それみる
386		そんきゃあ	そのぐらい
387		そんなら	それなら
388		たうど	作男の称
389		たかうま	踏み台(継台)
390		たがく	持つ
391	×	たかしば	竹の枝や梢をそぎおとしたもの
392		たきおとし	薪などの燃えかす

NO	評価	方言	内容
393		たきもん	薪木
394		たごめる	曲げる
395		だし	干魚、きのご等でとる
396		だしこう	物やお金を出し合い飲み食いすること
397		だだみ	鱈の白子
398		だちゃかん	思うようにならない
399		たっち	ももひき
400		たってやあも	たったいま
401		たつぶ	タニシ
402		だてこき	飾りめかす人
403		たとんだ	折りたたむ
404		たなあげ	敬遠して相手にしない
405		たなげ	池
406		たばくる	人の物をとる
407		たぼう	貯める
408		たまげた	驚いた
409		たようごろ	笹ちまきの一種
410		たれ	味噌のかすから取ったもの
411		たんく	持つ
412		だんさん (だんのさん)	昔は役人、医者、神主につかった
413		だんつく	旦那 (茶化した表現)
414		たんと	多い、沢山
415		だんぶくろ	蛙の卵粘汁質の袋
416		だんぶり	トンボ
417		ぢあん	祖父
418		ちいちい	盗み
419		ちくじょむ	つづくまる
420		ちち	母のこと
421		ちちこまる	ちぢまる
422		ちつとばかり	わずかばかり
423		ぢや	語尾を強める時使用
424	?	ちゃつぽ (しゃつぽ)	帽子
425		ちゃつる	盗む意
426		ちゅうて	云うて
427		ちょうしゃあげる	煽る、おだてる
428		ちょうば	場所
429		ちょこちょこ	少しづつ
430		ちょろまかす	体裁よく騙す
431		ちょんがり	浪曲
432		ちらける	乱雑になる
433		ちんちん	仲が良い、陰部の称
434		づうすい	雑炊
435		つえんぼう	杖
436		つぎ	布きれ
437		つきゃあ	使い
438		つぎゃあ	藁を結んで作ったもの
439		つくぼう	座る
440		つけーんとして	しらをきって
441		つづ	つかえ棒
442		つづくる	着物の補修などのこと
443		づなし	規格はづれ
444		づにのる	調子にのる
445		つばくら	ツバメ
446		つぶろ	瓢箪、夕顔など中をからにしたもの
447		つべつべ	おさえどころのない
448	x	つば	藁を切った牛の食料

NO	評価	方言	内容
449		つぼ	庭園
450		つぼき	庭木
451		つましい	儉約
452		つまみぐしゃあ	食べ物の生臭い
453	?	つめ	最大限
454		つめる	費用を省く
455		つや	体裁
456		つら	顔
457		つらこき	すましこむ(愛嬌のない)
458		つらつけにゃあ	厚顔
459		つり(づり)	たり(完了の意)
460		づる	移動する
461		づろうやみ	怠惰者
462		つわる	熟す
463		つんぶり	峠の意
464		ていしむにゃあ	体裁が悪い
465		てうてうらいし	大袈裟(おおげさ)
466		てかばちつかん	手も足もでぬ
467		てきにゃあ	頭痛
468		できやあた	ありがとう
469		でしな	出るとき
470		てしょう	小さい皿
471		てつ	具合
472		てっこうもん	私の強い人
473		てのうぬかす	嘘を言う
474		でば	ばくとう魚
475		てばてばしい	はなやか
476		でぶてゃあ	額
477		てぶら	から手
478		てゃあこ	太鼓
479		てゃあすい	難儀、疲れる
480		でゃあた	出した
481		でゃあどこ	台所
482		でゃあねん	来年
483		でゃあこん	大根
484		てらめく	晴れ
485	x	でんがく馬	やせ馬
486		てんぎり	固い大便
487		でんぐった	ひっくりかえった
488		てんぐるみゃあ	肩車
489		てんこうもり	物を高く盛る
490		てんじゅく	天、あの世
491		てんにあわん	間にあわぬ
492		でんぼうぎゃあり	逆さになる
493		てんぼうこき	嘔吐き
494		てんや	飲食店
495		とうすみ	燈芯
496		とうとうさん	仏様(お月様)
497	x	とうど椀	下等の椀
498		とうなす	カボチャ
499		とうら	俵
500		どうらん	腰に付ける煙草入れ
501		とおく	遠い
502		とおけ	手桶
503		ときまに	たまに
504		どけいば	監獄

NO	評価	方言	内容
505		どさもん	ろくでなし
506		どし	友達
507		どす	人をののしって云う詞
508		とちがら	二十日ねずみ
509		とつそく	早くすでに
510		とつとき	秘蔵、大切にしているもの
511		どっとこしゃあ	横ぶとりしたものに対して言う詞
512		どどうれる	たおれる
513		ととくそ(とんてつ)	軽率
514		どべらあ言う	ホウをふく
515		どまあくう	まごつく
516		どやす	打つ
517		どやどや	人の多く続く様
518		とやん	父
519		とりあげばば	産婆
520		どんきやあ	どれ程
521	x	どんざ	刺し子の仕事着
522		どんたくもん	放蕩者
523		とんちん(どうぶく)	袖なしの綿入れ
524		とんてつ	粗忽(そそっかしい)
525		とんにゆう	長身者
526		どんべいぐらり	あてにならない人
527		なおかな	なおさら
528		なかしゃあ	真中、間
529		なくそへぐそ	どこえでも
530		なすび	ナス
531		なすりつける	責任転嫁する
532		なだ	涙
533	x	なつき	烏賊(イカ)が海面へ浮遊してくる時刻
534		なめずる	嘗(な)め弄(もてあそ)ぶ
535		なりやあ	きまりがない
536		なれる	魚が腐敗する
537		なんたら	何程
538		なんちゆう	何という
539		なんばた	鉾夫の称、ごろつき者
540		なんばん	トウガラシ、ピーマン
541		なんもかも	何もかも
542		にいいい	新しい
543		にいやか	賑(にぎ)やか
544		にがむしをかみつぶす	苦言、苦しみをこらえる表情
545		にじりこむ	強いて仲間に入り込む
546		にっこらしい	似合う
547		にでやあご	あとつぎ
548		にのう	荷縄(なわ)
549		にぶて	みぞれ、あられの混じる天候
550		にやあ	無し
551		にやあにやあ	猫
552		にやける	なまめかしくコびる
553		にようにようさん	僧、火のこと
554		にわざしき	炉辺の下座を言う
555		にんじう	仲間
556	x	ぬいご	藁の抜穂
557	x	ぬいごの穴から空を見る	非常に狭い角度から物事を考える
558	x	ぬかす(子を)	妊娠の間引きをする
559		ぬきやあたな	言いやがったな(喧嘩などで使う)
560		ぬぐい	暖かい

NO	評価	方言	内容
561		ぬけ	ふぬけ
562		ぬつち	塗師
563		ぬらつく	とらえどころのない
564		ぬるまゆ	ぬるい湯
565	?	ねぎ	魚搔きで魚を突きとる
566		ねぎもん	寝着物
567		ねぐしゃあ	腐敗した臭いがする
568		ねしょう	女
569		ねずみさし	松
570		ねそぼけ	半眠りでボケている様
571		ねつい	特に丁寧な
572		ねっから	一向に、期待した程でない
573		ねっこ	根元
574		ねぶいち	大きなおでき
575		ねぶか	ネギ
576		ねぶる	眠る
577		ねぼりはぼり	ことごとく全部
578		ねまる	座る
579		ねめる	力を入れて息をこめる
580		ねりごめ	子どもの乳代用品
581		のいたて	縫いあげる
582		のう	縫う
583		のうあがり	田植え終わり
584		のうしろ	苗代
585		のうだて	吉日を選んで田植始めをする
586		のうでわら	苗を束ねる藁
587		のけぞる	仰向く
588		のさばりもん	なまけ者
589		のす	しわくちやを平らにする
590	?	のた	浪
591		のたあえ	豆腐あえの食べ物
592		のたりもの	なまけ者
593		ののこ	綿入りの着物
594		のべのっとこ	間断なく
595		のめいりもん	なまけ者
596		のんだ	のです
597		ばあ	祖母
598		はいも	里芋
599		ばいや	さようなら
600		はかどう	墓地
601		はかをやる	仕事の量を早くやる
602		はしゃーぐ	乾煉
603		ばしょう提灯	弓張提灯
604	×	はしらかし	汁の実のない汁
605		はしりがつちょう	かけっこ
606		はだか木	さるすべり
607		はだかはちかん	素裸、無一物
608		はたく	たたく
609		はだける	物を取り出し尽くした意
610		はだこ	一重物の総称
611		はだそい	こしまき
612		はつくせん	くしゃみ
613		ばってい	けれども
614		ぱっぱ	煙草(幼児詞)
615		はなかい	あら恥ずかしい(子ども言葉)
616		はねをのす	のびのびする

NO	評価	方言	内容
617		はばきのぎ	遠旅から帰った祝宴
618		はやる	はしゃぐ
619		ばり	小便
620		はる	刈る
621		ばをかく	その場に最後までいる
622		はんぎり	タライの大きいもの
623		ばんげい	夜
624		はんこう	半分
625		ばんじょう	大工
626		はんちゃ	半着
627		はんちゃく	たけの短い裏付きの上着
628	?	ひきまおし	マント
629		ひこつい	醜いものの形容
630		ひしてい	1日
631	?	びち	木の葉などから落ちる大粒の雫
632		びचार	捨てる
633		ひっかがね	膝の裏側
634		ひったくる	奪う
635		ひっちゃける	ちぎれる
636		ひつつく	くつつく
637		ひっぽかす	ほうる
638		ひなから	半日 (午後)
639		ひねくる	皮肉る
640		ひねる	指にて紙などよること
641		ひぼ	ひも
642		ひゃー	灰
643		びゃあた	割木
644		ひやかす	水にひたす
645		ひやず	身体が虚弱
646		ひょうな	へんな
647		ひょうろく	じょうだん
648		ひょつかしげ	おそまつ
649		ひょんなこと	へんなこと
650		ひらき	居間の明かりさき
651		ひりこす	末子
652		ひりょう	日雇料
653		ひる	大小便の用を足す
654		びろつく	子どもが物をほしがる
655		ひん	ひん投げる等の接頭語
656		びんこう	前頭
657		ひんず	時のひょうし
658		びんつけ	頭髮につける練油
659		びんな	タニシの一種
660		ふいきだけ	火吹竹
661		ふいきん	雑巾
662		ぶえん魚	生魚
663		ふきのぢいさん	ふきのとう
664		ふくでもち	餅をまるくしたもの
665		ふくらげ	イナダ (魚)
666		ふくろび	綻 (ほころ) び
667		ふげ	髭 (ヒゲ)
668		ふけた	夏期米に虫がたちいたむこと
669		ふける	自分をえらく言う 財力等をみせびらかす
670		ふじやあ	不自由
671		ぶしゃあく	不細工
672		ぶすこき	悪口 (不平) を言う人

NO	評価	方言	内容
673		ふずまい	不自由
674		ふぞうろう	不規則、きまりがない
675		ふだあーるい	空腹
676		ふたぐ	ふさぐ
677		ふっかけ	人に言い掛かりをつける
678		ふっかけ	人に言い掛かりをつける
679		ぶつつける	投げつける
680		ぶと	ブヨ
681		ふとる	大きくなる
682		ふいぶきもち	黄な粉餅
683		ふやける	水にひたして量が増す
684		ふよ(え)に	ヒヨコ
685		ふるぎ	石臼の柄
686		ふるしき	風呂敷
687		ぶんぶ	湯(小児詞)
688		べいてや	汚い
689		ペーの子	牛の子
690	x	へぎめし	一鍋中でたきたるかて飯の中の白飯
691		へしよる	折る
692		べそかく	泣く
693		へち	心がいやしい
694		へちがね	くさがめ虫
695		べっちやりこい	ひらたい
696	x	べつとう	雑炊に粉をかいいたもの
697		べと	泥土
698		へべくた	とるに足らぬ
699		へもんち	普通でない
700		べら	舌
701		べりを言う	おせじを言う
702		べん	絵の具(紅)
703		へんどいなし	ききめのない人
704		ほいちょう	包丁
705		ほいとう	乞食
706		ほうける	捨てる、投げる
707		ほうる	捨てる、投げる
708		ほえ	焚き木
709		ほくい	副食物なしに飯ばかり食う
710		ぼこさん	蚕
711		ほざく	言いやがる
712		ほしめる	見せびらかす
713		ほぞける	火などかきおこす
714		ほたく	暴れ騒ぐ
715		ほつく	米麦をつく(臼などで)
716		ほて	辺端、カタスミ
717	x	ぼて	大型の籠
718		ほに	ほんとうにねえ(合図ち)
719		ほのぎ	小見出し
720		ぼぼ	ツボミ
721		ぼぼ	ツボミ 幼児
722		ほまち	正当の賃金の外に得る金銭や品物
723		ぼやずみ	和炭、自家製炭
724		ぼろかすに	悪しざまに、ボロボロに
725		ぼろめいた	落ちる
726		ぼろもうけ	大もうけ
727		ほんとうれい	事実だよ
728		ぼんのくび	クビの中央

NO	評価	方言	内容
729		ぼんぼう	牛
730		ぼんぼんづかい	虎杖 (ツエ)
731		まおいた	まわした
732		まき	チマキ
733	×	まくらダンゴ	死人の枕もとにおくダンゴ
734		まこや食い	間食
735		ましょくにあわん	間にあわぬ、ソロバンがもてぬ
736		まぜこのう	間に合わせ
737		またぐら	内ももの意
738		まま	飯
739	?	まま	傾斜地、土手
740		ままえる	償う
741		まみや	眉毛 (まゆげ)
742		まめ	元気、健康
743		まやごえ	ウヤマからでる肥
744		まるつきり	まったく
745		まるめる	好言で相手をつる
746		まわし	褌 (フンドシ)
747		まんまりっこい	まるい
748		みそごい	濃厚、複雑
749		みそをつけた	失敗した、恥じをかいた
750		みだける	縫 (モツ) れる
751		みづこぼれ	分水嶺
752		みづづけ	単塩で漬けた大根
753		みっともにゃあ	醜い
754		みつめ	生後三日目の祝日
755		みとおし	山の境界等の刈り分けをした部分
756		みにゃあならん	しっくりせぬこと
757		みみ	きのこ
758		みみづく	濁り酒
759		みゃあかけ	前掛け
760	×	みようじ牛	牝牛
761		みよて	親類、身内
762		みんじゃ	流し場
763		むえる	多くなる
764		むかじ	ムカデ
765		むきになる	本気に気をたてる
766		むくろ	もぐらもち、鍋が傾きを直す重り
767		むごつけにゃあ (むごい)	かわいそう
768		むざく	ひろげる
769		むぞつき	仕事の能率をあげ得ぬ
770		むつきに	とても
771		むつけた	飽き飽きした
772		むっさんこう	一気に、向こう見ずに
773		むつら	星座の一つ
774		胸がこびる	胸がやける
775		むらにんそく	公共的な作業に奉仕すること
776		めかす	ソバの花や梢葉の干しからびたもの
777		めきゃー	土砂などを運ぶ具
778		めくされ金	ごく少ない金
779		めくじらたてる	めにかどを立てる
780		めっかち	片目の人
781		めっこうめし	半煮の飯
782		めつと	夫婦
783		めとち	盲鬼 (鬼ごっこ遊び)
784		めとんぼ	眼力の鈍い者

NO	評価	方言	内容
785		めめず	ミミズ
786		めめづかた	ミミズ腫れ
787		めんぼう	押し伸ばす為の棒 (ソバ等をつくる時)
788		もがり	窓の外につける格子
789		もごらしい	かわいそう
790		もじりそで	半袂 (たもと) 半袖
791		もちゃーすび	おもちゃにする
792		もっこう	強情
793		もっこう輝	越中輝
794		もってやあもちがにやあ	すぐに壊れる、失う
795		もってやをつける	もったいぶる
796		もの	おでき、腫れ物
797		もめ	騒動
798		ももたぶら	太腿 (フトモモ)
799		もりまぜ	口取物
800		もんし	ものであるから
801		もんだん	文句、小言
802		やあー	鮎
803		やあくさ	わきが
804		やいっこしい	面倒くさい
805		やげ	悪い、へんな
806		やさ	あいさ 闇
807		やさの事でにやあ	容易な事でない
808		やしびやあ	いぶし焼き
809		やせく	夕食後の食事
810		やっきやーもん	扱いづらい人
811		やっとかた	ようやく
812		やぶつ	夜具
813		やまう	しふる
814		やまさき	材木商
815		やまどうね	麻の仕事着
816		やりかんぼう	向こう見ず
817		やわっこい	やわらかい
818		やんびやー	いい具合
819		ゆいて	湯に入る時の手ぬぐい
820		ゆきすごう	行過ぎす
821		ゆこが	風呂用の桶
822		ゆさぶる	ゆする
823		ゆさむ	勇む
824		ゆづけ	湯をかけた飯
825	x	ゆづと	食籠
826		ゆみそ汁	味噌汁に粉をかきたもの
827		ゆりで	ぬるでの意
828		ゆるり	いろり
829		ゆるんはた	いろり端
830		ゆるんばたべんけい	家では元気だが外ではいくじ無しになる
831		ゆわえる	結びつける
832		ゆんべ	夕べ
833		ようま	夜
834		よこざ	炉辺の主人の座
835		よこになる	物を借りて返さぬ
836		よせくせする	物事を決めかねる
837		よせづく	人にあてつけをする
838		よたけ	猫の嘔吐
839		よつじ	道が十字形に交わる辻
840		よつぱり	寝小便

NO	評価	方言	内容
841		よつぺと	一晩中
842		よてへーき	えこひいき、偏る
843		よどうされる	夜遊びに夢中になる
844		よの木	榎
845		よぼった	呼ばった
846		よろどう	よろける
847		よんどころにゃあ	体裁が悪い、申し訳ない
848		よんべ	昨夜
849		わあわあ	犬の愛称
850		わかし汁	味噌汁で実がないもの
851		わき	そば (接近)
852		わく	醗酵する
853		わごねる	無整理にたたみ込む
854		わじきさま	頭ごしに言う”おまえ達 ”
855		わたたび	水天夢
856		わたになった	疲れきった
857		わたまし	神霊が移動する
858		わっぱ	へ木を曲げてつくった食籠
859		わや	凡て駄目になる
860		わらこづ	藁 (ワラ)くず
861		わらすべ	藁 (ワラ)
862		わらんじ	ワラジ
863	?	わろう	波の ノタがまきこむ
864		わんじり	しっかり握る